

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門
問題番号		選択科目：
答案使用枚数	枚目 枚中	専門とする事項：

(1)	あ	ら	か	じ	め	調	査	、	検	討	す	べ	き	事	項	①								
①	地	区	の	状	況	：	人	口	、	公	共	施	設	の	状	況	、	災	害	ハ	ザ	ー	ド	
	エ	リ	ア	、	交	通	状	況	、	地	域	地	区	の	設	定	状	況	を	既	存	の	立	地
	適	正	化	計	画	策	定	時	点	と	の	変	化	を	含	め	て	調	査	す	る	。		
②	目	標	値	の	達	成	状	況	：	既	存	の	立	地	適	正	化	計	画	の	目	標	値	
	の	達	成	状	況	、	理	由	を	調	査	す	る	。										
③	上	位	計	画	等	の	更	新	時	期	、	状	況	：	市	町	村	マ	ス	タ	ー	プ	ラ	
	ン	が	更	新	時	期	の	場	合	、	一	体	的	な	更	新	も	検	討	で	き	る	。	故
	に	上	位	計	画	等	の	更	新	時	期	や	状	況	に	よ	り	一	体	的	な	変	更	を
	検	討	す	る	。																			

① ここに示されている調査・検討事項は、立地適正化計画の変更に必要な情報のみです。問われているのは、防災指針案を作成するために必要となる調査・検討事項です。論点がズレています。防災指針の調査・検討事項としては、1)災害ハザード情報等の収集・整理、2)災害リスクの高い地域等の抽出、3)地区ごとの防災上の課題の整理などがあります（立地適正化計画作成の手引きより）。

(2)	業	務	手	順	及	び	留	意	点	、	工	夫	を	要	す	る	点							
①	検	討	体	制	の	構	築																	
	他	部	局	と	調	整	し	検	討	体	制	を	構	築	す	る	。	既	存	の	計	画	策	
	定	時	の	体	制	を	基	本	と	し	つ	つ	、	<u>防</u>	<u>災</u>	<u>部</u>	<u>局</u>	<u>の</u>	<u>強</u>	<u>化</u>	<u>等</u>	<u>の</u>	<u>工</u>	<u>夫</u>
	<u>を</u>	<u>す</u>	<u>る</u>	②	。																			

② 「防災部局の強化」は、表現として適切ではありません。言いたいことは、次のような内容ではないでしょうか。→「防災担当部局を新たに加えるなど、防災の視点を強化することに留意する。」

②	ま	ち	の	将	来	像	の	検	討													
	<u>防</u>	<u>災</u>	<u>指</u>	<u>針</u>	<u>の</u>	<u>追</u>	<u>加</u>	<u>に</u>	<u>伴</u>	<u>う</u>	<u>変</u>	<u>更</u>	<u>点</u>	<u>を</u>	<u>検</u>	<u>討</u>	<u>す</u>	<u>る</u>	③	。		

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門
問題番号		選択科目：
答案使用枚数	枚目 枚中	専門とする事項：

③ 防災指針の策定の手順を解答するのですよ。「防災指針の追加に伴う」と言ってしまっは、もはや防災指針の策定手順でなくなっています。「まちの将来像」→「防災まちづくりの将来像」ですね。加えて、「立地適正化計画作成の手引き」では、将来像と合わせて取り組み方針の検討もあります。両方記載した方が良いです。さらに、同手引きを踏まえると工夫点は、「地区ごとの課題を踏まえて取り組み方針を検討する」といった具合ですかね。

③ 防災指針の内容の検討
具体の事業、施設の内容を検討する④。市街地外の
居住者の防災減災対策に留意する⑤。例えば、避難路
 や避難施設の検討において、市街地外からの避難が可
 能となるよう工夫する。

④ 取り組みを検討するでは、一般論を脱していません。もっとどのように検討するのか書くべきです。例えば、リスクの低減と回避に分けて取り組みを整理する、ハードやソフト施策を区分するなどの検討手法が考えられます。

⑤ 一番技術力が示せる絶好の項目であるにも関わらず、留意事項が限定的です。工夫点は、地域住民等との合意形成の状況や取組の実施状況等を踏まえて適宜に追加、取り組みを地図に示すなど住民に分かりやすく周知する等が考えられます。

④ 目標値、スケジュールの検討
防災指針の内容を踏まえて検討する⑥。既存の計画
から変更する場合⑦は市民や庁内で説明が可能なよう
 客観的な情報に基づくように留意する。⑧

⑥ 何を検討するのですか。

⑦ これも立地適正化計画の変更の話になっています。書くことは、防災指針の策定です。

⑧ 目標やスケジュールに関する手法や留意点等の記述がなく、タイトルと齟齬があります。

技術士 第二次試験 模擬答案用紙

受験番号		技術部門
問題番号		選択科目：
答案使用枚数	枚目 枚中	専門とする事項：

⑤ 住民意向の聴取
公聴会、説明会及びwebによるパブリックコメントにより住民意向を聴取する⑨。GISデータ、イラスト、新旧対照表を用いて分かりやすい資料の工夫をする。

⑨ 問題は「手順を書け」なので、行動する順番にタスクを書いていく必要があります。これらの意見聴取の段階は、施策検討段階や素案作成段階など時期がバラバラです。それぞれのタイミングで、工夫点などとして記載する方が良いと思います。

⑥ 計画案の取りまとめ
 必要に応じて計画を修正し、案として取りまとめる。
 ⑩

⑩ 紙面のスペース次第というところですが、これもどのように取りまとめるのか書いた方が良いでしょう。例えば、「素案作成」→「検討組織に諮る」→「原案作成」→「パブコメ」→「修正」→「策定」といった流れがあると分かりやすいです。

(3) 関係者及び連携・調整方策

① 庁内他部局との連携
 立地適正化計画は街全体の計画のため多くの部署が関わる。特に福祉、医療部局の災害弱者施設における対策の確認のため、検討初期段階から情報共有及び意見交換を行う。

② 都道府県、他の市町村との連携
 流域治水の観点から都道府県や他の市町村との連携を行う。特に都道府県とは災害時の救援要請の円滑化のため、必要に応じて協定により役割分担を明確化する。

